

前回計画の検証

1. 目標値の達成状況

前回計画における温室効果ガス排出量の目標値は、73.3 千 t-CO₂ であり、目標年である令和 2 (2020) 年度の排出量は 87.4 千 t-CO₂ となり、目標値よりも 14 千 t-CO₂ 排出量が増加する結果となりました。産業部門については、目標値と比べて-13.3 千 t-CO₂ 排出量を削減することができました。その一方、他の部門分野では排出量が増加し、特に、運輸部門は計画の目標値よりも 12,6 千 t-CO₂ 多く、引き続き排出削減を進めていく必要があります。

2. 部門別の状況

産業部門は、産業規模の縮小または排出量削減の取り組みが進んだことなどにより、排出量の大幅な削減となりました。例えば、計画で見込んでいた製造品出荷額が 20 億円減少するなどの変化がありました。

業務その他部門は、建築物・機器等の省 CO₂ 化などの省エネに関する取り組みが十分に進まず、低い排出係数を用いて試算されていたため目標値よりも排出量が増加する結果となりました。

家庭部門は、世帯数が見込みよりも 600 世帯ほど増加したものの、家庭における省エネ行動などの取り組みなどにより排出量はおおむね目標値通りとなりました。

運輸部門は、概ね見込み通りの車両台数となったものの低い排出係数を用いて試算されており、削減に関わる取り組みなどが十分に進まず、目標値よりも排出量が増加する結果となりました。

廃棄物分野は、ごみ焼却量が見込みよりも約 800t 増加したため、排出量が増加する結果となりました。

表. 前回計画における排出量目標値と実績値の比較

部門・分野	基準年	目標値	実績値	基準年との差	目標値との差
	平成 21 年 (2009 年度) 排出量 [千 t-CO ₂]	令和 2 年度 (2020 年度) 排出量 [千 t-CO ₂]	令和 2 年度 (2020 年度) 排出量 [千 t-CO ₂]	排出量 [千 t-CO ₂]	排出量 [千 t-CO ₂]
産業部門	30.0	27.4	14.1	-15.9	-13.3
業務その他部門	12.9	9.5	14.2	1.4	4.7
家庭部門	18.2	17.0	17.8	-0.3	0.8
運輸部門	27.2	17.5	30.1	2.9	12.6
廃棄物分野	1.6	1.2	1.8	0.2	0.6
その他部門	0.7	0.7	9.3	8.6	8.6
合計	90.5	73.3	87.4	-3.2	14.0

・四捨五入により、表示上の数値による計算が合計値と一致しない場合があります。